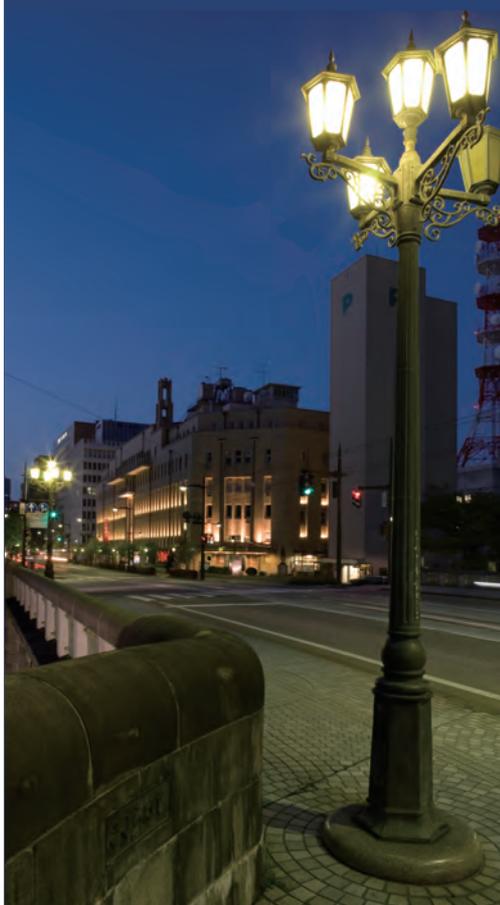


## 富山電気ビルの歴史

- 明治 36年 神通川本流の河道変更に伴い旧河川跡の  
廃川地（現在地）ができる
- 大正 13年 神通川廃川地利用を核にした都市計画事  
業の指定を富山市が受ける
- 昭和 9年 富山電気ビルディング地鎮祭挙行（12/7）
- 昭和 10年 廃川地に富山県庁、富山放送局が完成
- 昭和 11年 富山電気ビルディング完成  
（日本海側3番目のホテルとして洋室13  
室を備え富山電気ビルホテルも同時開業。  
経営を東京丸ビル食堂の太田音彦氏に任  
せる）  
日満産業大博覧会開催（4/15～6/8）  
日本海電気（現北陸電力）、郵便局、十二銀  
行、富山社交倶楽部など入居
- 昭和 12年 神前式結婚式場完成
- 昭和 20年 富山大空襲 終戦  
富山電気ビルにおいても本館屋上の屋根  
に焼夷弾が落下し、5Fを焼失。  
映写機、サーチライト、ブリュトナーピア  
ノ、能舞台ほか備品が全て消失。  
4階より下の階はその影響で雨漏りが頻  
発。損害額118万円。  
県の要請により10月米軍情報部（CIC）、  
富山軍政部（MG）に当館を提供
- 昭和 23年 富山水害により、B1Fが水没
- 昭和 27年 サンフランシスコ対日講和条約発効  
富山電気ビル接收解除  
回復に要した費用は2,500万円に達した  
ホテル部門再開
- 昭和 28年 5F大ホール改装、ラジオ公開録音会場と  
しての使用が始まる
- 昭和 29年 富山産業大博覧会開幕。  
高松宮殿下ご夫妻、秩父宮殿下、三笠宮妃  
殿下御成り
- 昭和 30年 富山電気ビルディング新館完成
- 昭和 33年 天皇后両陛下御幸啓  
御製 高々と峰々青く大空に そびえ立つ  
見ゆ今日の朝餉に
- 昭和 34年 皇太子・同妃殿下御幸啓
- 昭和 35年 呉羽カントリークラブ食堂委託
- 昭和 49年 6月ホテル部門閉鎖、食堂営業部門拡大
- 昭和 58年 館内改修（各階シャンデリア設置）
- 平成 18年 ライトアップ開始、館内改修



## 電気ビル 館内散歩マップ



## 富山電気ビルの外観



電気ビルの建物は野原の真ん中に完成したので西側  
の県庁方面から見るとあたかも埠頭に浮かんでいる  
軍艦のように見えた。  
一般市民には全形そのものが軍艦の方に見え、屋上  
の塔屋はマストのごとく、5階のバルコニーの柵は  
デッキに見えたのである。  
この構造設計にあたっては特に耐震耐火に留意し、  
地震学の権威内藤日中工学博士に依頼したこともあ  
って外観、内観ともに頑強にできており、基底は船  
底の型をとってあるので地震の際には建物が波に揺  
れるようになっている。



## 富山電気ビルディング

〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号  
TEL 076-432-4111  
FAX 076-432-4130  
E-mail:enkai@denkibuil.com  
<http://www.denkibuil.com/>

## 富山電気ビル建設の概要（昭和9年）

設計者	富永譲吉（大熊善邦博士の流れ）
施工者	戸田組
竣工日	昭和11年3月
総工費	60万円
敷地面積	1,905坪70
建坪	651坪90
延べ面積	3,369坪92
構造	近代式耐震耐火鉄筋コンクリート造り
外装	腰回りは万成石貼り其他は擬石タイル張 仕上げ屋根は陸屋根タイル張
電気設備	240kVA、受電設備を有する変電室を設 け各種動力及電灯用にコンジットチュ ープ配線法により配電
衛生設備	全館水洗式便器器具の排水を敷地内に汚 水浄化装置を設備し浄化消毒
給水設備	水源は井戸。湧水ポンプにて屋上の貯水 槽へ送る
給湯設備	各室の給湯栓を整備、熱源はガス
暖房設備	低圧真空式蒸気暖房装置を用い自動給炭 機能付き低圧強制ポンプ式蒸気汽缶2基 設備
消火設備	各階に100尺の押しボタン式自動消火ホ ースを設備。 屋上給水槽、井戸、又消火配管設備は建 物全面2か所に来る公設消防用サイヤミ ース接続口へ接続
換気設備	10馬力の排風機2台を設備
非常用階段	自動閉鎖カラミン扉を有する耐震耐火 鉄筋コンクリート造り非常階段
エレベーター	シングルラップ、トラクション、ギヤード 型マイクロドライブ電力昇降機2機設備

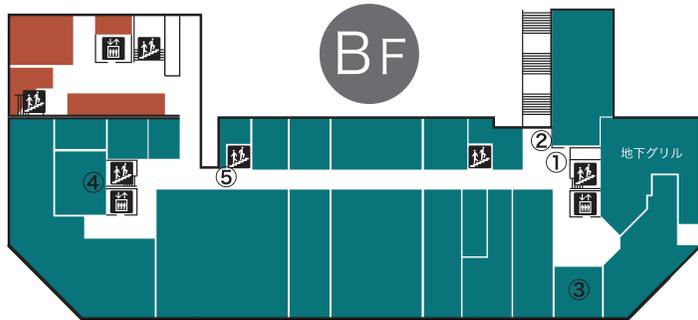


# 不易流行

富山電気ビルディングは、海外・県外からのお客様をもてなす迎賓館として、また、富山市民の文化センター的な役割を担うため、誕生いたしました。移り変わる時代の流れに応えながら開業以来75年。「迅速に、礼儀正しく、清潔であれ。すべてはお客様へのサービス第一を念頭に」というスピリットを基に、皆様とともに歩み続けます。



①地下時計  
栄工舎製昭和10年納品  
動力重錘自動巻上げ式・  
振り調時式・直流電磁時  
刻表示式



②GHQが残っていた看板  
唯一残っている痕跡です。



③開業以来、今も営業が続  
いている理髪店とグリル



④昔懐かし、人研ぎの階段  
階ごとに微妙に段数が変化して  
います。



⑤船底を思わせる通路と階段  
ここでも船のデザインが意識され  
ています。



⑦昭和12年に設置された神殿



⑮金山康喜の絵を展示  
富山が誇る洋画家



⑯開業以来ダイニングルー  
ムとして使われている部屋  
(写真は昭和11年)



⑩ホテル当時の趣を残す北ロ  
ビー  
⑪郵便ポスト(1Fポストへ直行)



⑫暖炉の残る部屋。  
開業以来数々の会食会が行わ  
れた。



⑬開業当時からの和室もあ  
ります



⑬伊東深水、中村清治、富山にか  
かわりのある芸術家の美術品な  
どを展示  
各部屋にも展示しております



⑥開業以来現在も現役  
の真鍮製の郵便ポスト



⑦戦災にも焼け残った  
柱や玄関周り  
今も皆様をお迎えしています。



⑧漆喰の天井  
職人による継承で、3年前に復元  
しました。



⑨昭和11年の新聞が見つっ  
た天窓があります。  
ここからの眺めが最も美しい姿と  
言われています。

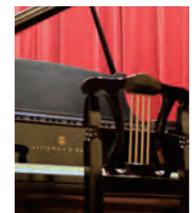


⑲一度は空襲で焼失した大  
ホール  
戦前は二つに仕切れられ、二階席  
もありました。(昭和12年頃)



⑳昭和11年の戦前の富山市の  
全景写真が飾っております

㉑戦前から設置されている  
珍しい5階バルコニー



㉒名器スタインウェイ  
昭和28年に購入されまし  
た。今も美しい音色を奏で  
ています。



㉓懸命の消火活動のお  
かげで舞台は残りました